

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4296553号
(P4296553)

(45) 発行日 平成21年7月15日 (2009. 7. 15)

(24) 登録日 平成21年4月24日 (2009. 4. 24)

(51) Int. Cl.

A 4 7 B 88/00 (2006.01)

F 1

A 4 7 B 88/00

B

請求項の数 15 (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願平10-70441	(73) 特許権者	597140501
(22) 出願日	平成10年3月19日 (1998. 3. 19)		ジュリウス ブルム ゲゼルシャフト エム. ビー. エイチ.
(65) 公開番号	特開平10-262758		オーストリア国 ホッチスト A-697
(43) 公開日	平成10年10月6日 (1998. 10. 6)		3 インダストリーストラーセ 1 番地
審査請求日	平成16年12月8日 (2004. 12. 8)	(74) 代理人	110000659
(31) 優先権主張番号	A 494/97		特許業務法人広江アソシエイツ特許事務所
(32) 優先日	平成9年3月21日 (1997. 3. 21)	(74) 代理人	100083932
(33) 優先権主張国	オーストリア (AT)		弁理士 廣江 武典
		(74) 代理人	100109597
			弁理士 西尾 章
		(72) 発明者	エリッヒ ロック
			オーストリア国 ホッチスト A-697
			3 キューファーストラーセ 7 番地

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 引き出し

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

二つの、内壁と外壁の間が中空となっている二重壁で構成されている引き出し枠を備えた引き出しであって、該引き出し枠内に該引き出し枠の全長にわたって延びる樹脂からなる構造材部品を受容しており、

前記構造材部品が、分離した前方部品片（2）と後方部品片（3）とで構成されており、

前記前方部品片（2）が、前記引き出し枠の正面に隣接する前方被覆板（19）を有しており、前記後方部品片（3）が前記引き出し枠の後ろの正面に隣接する後方被覆板（20）を有しており、

前記前方部品片（2）と前記後方部品片（3）とは、かぎ（9、10、13、14）によって相互に結合自在であることを特徴とする引き出し。

【請求項 2】

両被覆板（19、20）に設けた溝（21）で引き出し枠（8）の末端を受容することを特徴とする請求項 1 に記載の引き出し。

【請求項 3】

前向きに開いた小室（26）を通して前方部品片（2）内に挿入自在である、正面装飾の保持具（11）用の固定手段（12）を、前方部品片（2）内に備えていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の引き出し。

【請求項 4】

10

20

後方部品片（３）が上方に開口する中空室（５）によって背面上昇壁（６）の支えピン（２８）を受容するように形成されていることを特徴とする請求項１に記載の引き出し。

【請求項５】

少なくともかぎ（９，１０，１３，１４）の部分を弾性的に形成することを特徴とする請求項１に記載の引き出し。

【請求項６】

各部品片（２，３）が、重ねて配置されて反対方向を向く二組のかぎ（９，１０，１３，１４）を有することを特徴とする請求項１から５のいずれかに記載の引き出し。

【請求項７】

後方部品片（３）が垂直平面内で移動または回動自在な支え部分を備え、該支え部分はそれぞれ引き出し枠（８）の外壁（８＂）の折り曲げ縁（２３）内にかみ合うことを特徴とする請求項１から６のいずれかに記載の引き出し。

10

【請求項８】

支え部分が、スライド（１６）または回動自在なレバー（１５）によって形成され、該レバーはかぎ（１３）または前方部品片（２）に対して傾斜接続面（２４，２４'）を有することを特徴とする請求項７に記載の引き出し。

【請求項９】

構造材部品（３０）の後端に、構造材部品（３０）を引き出し枠（８）に固定する支え要素が設けられており、該支え要素は、該構造材部品（３０）と該引き出し枠（８）との間に挿入されるくさび状スライド（４５）であることを特徴とする請求項１から８のいずれかに記載の引き出し。

20

【請求項１０】

スライド（４５）を引き出し枠（８）と構造材部品（３０）の頭頂部に配置することを特徴とする請求項９に記載の引き出し。

【請求項１１】

スライド（４５）に設けたかぎ（２７）は穴（３４）内に、または構造材部品（３０）の突出部にかみ合うことを特徴とする請求項９又は１０に記載の引き出し。

【請求項１２】

スライド（４５）が引き出し枠（８）の外側上隅を覆うことを特徴とする請求項９から１１のいずれかに記載の引き出し。

30

【請求項１３】

構造材部品（３０）の後端に、構造材部品（３０）を引き出し枠（８）に固定する支え要素が設けられており、該支え要素は、構造材部品（３０）に回動自在に支えられた傾斜レバー（３５）によって形成することを特徴とする請求項１から８のいずれかに記載の引き出し。

【請求項１４】

各傾斜レバー（３５）が、構造材部品（３０）にリンク接合されて固定位置で引き出し枠（８）の後方正面に突き当たるアーム（３７）と、このアーム（３７）から突出して穴内に、または構造材部品（３０）の突起（４１）の後方にかみ合うかぎ（４０）を形成するアーム（３９）とを有することを特徴とする請求項１３に記載の引き出し。

40

【請求項１５】

構造材部品（３０）にリンク接合されるアーム（３７）がその自由端でスリット（３８）を有し、該スリット内に引き出し枠（８）の後縁を挿入することを特徴とする請求項１４に記載の引き出し。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、二つの、内壁と外壁の間が中空となっている二重壁で構成されている引き出し枠を有する引き出し（収納用容器）であって、引き出し枠内にその全長にわたって延びる樹脂材からなる構造材部品を受容するものに関する。

50

【0002】

【従来の技術】

このような引き出しはA T 3 5 5 7 5 6 Bから公知である。使用される構造材部品によって、比較的薄い材料から形成される引き出し枠は、その安定性に本質的に寄与する補強効果を得る。その際、好ましくは、引き出し案内が部分的に構造材部品に内蔵されるかまたはこれに固定される。このような引き出しの場合、引き出しの正面装飾を構造材部品に固定することもできる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

本発明の課題は、上述の種類の引き出しにおいて、引き出しを引き出す方向の引き出し枠の構造材部品の安定性を改善することである。

10

【0004】

【課題を解決するための手段】

本発明の課題は、構造材部品が引き出し枠の正面に隣接する前方被覆板を有すること、及び構造材部品の後端に備えられる支え要素(Halteelemente)を引き出し枠の内側方向へ向けて挿入して、構造材部品を固定することによって解決される。

【0005】

【発明の実施の形態】

本発明の好適な実施例で、構造材部品を構成する分離した前後の部品片は前後の被覆板を有し、該被覆板とともにそれは引き出し枠の前後の正面に隣接し、かつ該被覆板（部品片）は、かぎ（係止爪）等によって相互に結合自在である。後方部品片は後方被覆板とともに支え要素を形成する。

20

【0006】

従って、部品片によって形成される構造材部品は、各引き出し枠の全長にわたって延び、かつ末端でこれからわずかに突出する。それは前後で引き出し枠に支えられる。引き出し枠は引き出しの全受容空間を形成する槽の部分でもある。槽と引き出し枠は、その際、たとえば、樹脂材から一体的に射出成形するか、または薄鋼板から深絞りする(Blech tiefgezogen)。

【0007】

引き出し枠や槽の補強効果を改善するために、本発明の実施例で、被覆板に設けた溝内で引き出し枠の末端を受容する。本発明の別の実施例では、後方部品片は上方に開口する中空室によって背面上昇壁の支えピンを受容するように形成される。部品片を結合する、少なくともかぎの部分は弾性的に形成されて、部品片は相互に相手内にスライドしてこれらを一体的に結合する。

30

【0008】

好ましくは、各部品片は、重ねて配置されて反対方向へ向く二つのかぎを有する。その際、引き出し枠の外壁への支えを改善するために、好ましくは、後方部品片は垂直平面内で移動または回動自在な支え部分を備え、該支え部分はそれぞれ引き出し枠の外壁の折り曲げ縁内にかみ合う。その際、好ましくは、支え部分をスライドまたは回動自在なレバーによって形成し、該レバーは前方部品片に対して傾斜当接面を有する。この設計によって、部品片を相互に固定するとき、スライドまたはレバーは外壁の折り曲げ縁内で下向きに押圧されて、引き出し枠と構造材部品との間に強固な結合が得られる。

40

【0009】

本発明の実施例では、支え要素を、好ましくは、構造材部品と引き出し枠との間に挿入されるくさび状スライドによって形成する。本発明の別の実施例では、支え要素を、構造材部品に回動自在に支えられる傾斜レバーによって形成する。以下に、本発明の各種の実施例を添付の図面により説明する。

【0010】

【実施例】

本発明の引き出し（Schublade：収納用容器）は、本質的に、金属又は樹脂製の槽（収納

50

部) 1を有しており、該槽1に引き出し枠8が付加的に成形される。引き出し枠8は、内壁8'及び外壁8"を備えており、内壁8'と外壁8"の間が中空となるように(略U字状の断面に)形成される。そして、引き出し枠8内に構造材部品をはめ込むようになって

【0011】

図1から13までの実施例で、構造材部品は二つの部品片2, 3からなる。好ましくは樹脂構造材(Kunststoffprofilen)から形成される部品片2, 3は、内側に溝21を備える前後の被覆板19, 20を有し、該溝は引き出し枠8の末端を受容して、引き出し枠8または槽1の一層の補強に役立つ。部品片2, 3は、さらに、引き出し枠8の横断面に対応しかつ引き出し枠8を補強する垂直支柱22を有する。

10

【0012】

部品片2, 3は、かぎ9, 10と13, 14を備えており、該かぎによって部品片2, 3は相互に結合自在である。その際、かぎ9, 10と13, 14は重ねて(同じ位置に)配置されて、前方部品片2のかぎ10, 13は互いの方に向くのに対して、後方部品片3のかぎ9, 14は反対方向に向く。

【0013】

後方部品片3には、本発明の好適な態様において、下方かぎ14の下方域に回動レバー15またはスライド16が配置されている。回動レバー15またはスライド16は引き出し枠8の外壁8"の折り曲げ縁23内で下向きに突出する。回動レバー15ならびにスライド16は傾斜面24, 24'を備え、該傾斜面に前方部品片2のかぎ13の相手面25が接する。それによって、部品片2, 3の結合に際し回動レバー15またはスライド16は折り曲げ縁23内で下向きに押圧される。

20

【0014】

前方部品片2内には前向きに開いた小室26が形成され、該小室内には図示されない正面装飾の保持具11に対して固定手段12が配置される。前方部品片2は固定手段12ヘスクリュードライバの接近を可能にする側面穴を有する。この穴は取り外し自在のふた4によって覆われる。

【0015】

後方部品片3は上向きに開いた中空室5を有し、該中空室内に背面上昇壁6の支えピン28が挿入自在である。背面上昇壁6には手すり7が普通の方法で固定自在である。部品片2, 3には、好ましくは、引き出し案内セットの引き出しレール17が直接固定される。

30

【0016】

図6の実施例で、引き出し枠8の外壁8"は取り外し自在であり、かつ部品片2, 3ヘクリップ止め自在である。本発明による引き出し枠8の補強は、とくに槽1を有する引き出しの場合に使用されるが、図4に示すように分離した引き出し枠8を本発明による部品片2, 3で補強することが十分に可能である。

【0017】

図15から図19までの参考例で、構造材部品30は一体的に形成されている。両参考例で、それは、正面側で引き出し枠8に隣接する前端に前方被覆板19を有する。さらに、前方被覆板19は、引き出し枠8側の側面に溝21を備え、該溝内に各引き出し枠8の末端が受容される。

40

【0018】

図14から16までの参考例の構造材部品30は、その後端に後方と上方に開いた空隙31を有する。この空隙31内で引き出しの組み立てに際して挿入されるくさび状スライド45は、その前端にかぎ27を、かつその後端にスリット32とともに台座29を有する。台座29は組立位置で引き出し枠8の外側後端を包囲する(図16)。

【0019】

構造材部品30は、空隙31の下方域により小さい空隙33と穴34とを有している。引き出し枠8内に構造材部品30を最終的に固定する前に、スライド45は、そのかぎ27にて空隙33内にかみ合う。構造材部品30の固定のため、スライド45は前向きに、即

50

ち、引き出し枠 8 内に、そのかぎ 27 が構造材部品の穴 34 内にかみ合うまで挿入される。したがって、構造材部品 30 は、前方で前方被覆板 19 と溝 21 により、かつ後方でスライド 45 により引き出し枠 8 内に固定される。尚、穴 34 の下側からかぎ 27 を押し戻すこともできる。

【0020】

図 17 から 19 までの参考例で、構造材部品 30 はその後端に台座または突出部 18 を備え、該突出部上に傾斜レバー 35 が軸 36 によって支えられる。傾斜レバー 35 は上向きのアーム 37 を有し、該アームはその自由端でスライド 45 の溝 32 に対応するスリット 38 を備える。組立位置で引き出し枠 8 の後端はこのスリット 38 内に突出するから、引き出し枠 8 は傾斜レバー 35 によって形状密接的に保持される。

10

【0021】

アーム 37 から突出するアーム 39 はかぎ 40 を備える。組立位置でかぎ 40 は突出部 41 の後方で構造材部品 30 にスナップ作用でかみ合うため、傾斜レバー 35 を拘束する位置内でそれは引き出し枠 8 を構造材部品 30 に、または構造材部品 30 を引き出し枠 8 に保持する。

【0022】

【発明の効果】

以上詳述したように、本発明においては、支え要素により、引き出し枠と構造材部品とを簡単かつ確実に連結固定することができる。

【0023】

さらに、被覆板に設けた溝によって引き出し枠の末端を保持するように構成することにより、引き出し枠や槽の補強効果を改善することができる。また、後方部品片に設けた上方に開口する中空室によって背面上昇壁の支えピンを受容することができ、簡便である。

20

【0024】

部品片同士を結合するために、少なくともかぎの部分弾性材料等にて形成することにより、部品片を相互に相手内にスライドさせてこれらを簡単かつ確実に一体的に結合することができる。

【0025】

各部品片に反対方向を向いた二つのかぎを設けることにより、部品片同士を簡単かつ確実に結合することができる。その際に、引き出し枠の外壁への支えを改善するために、後方部品片に垂直平面内で移動または回動自在な支え部分を設けておけば、該支え部分が引き出し枠の外壁の折り曲げ縁内にかみ合う。従って、この設計によって、部品片を相互に固定するとき、スライドまたはレバーは外壁の折り曲げ縁内で下向きに押圧されて、引き出し枠と構造材部品との間に強固な結合を得ることができる。

30

【0026】

さらに、前記の支え部分をスライドまたは回動自在なレバーによって形成し、該レバーに前方部品片に対する傾斜当接面を設けておけば、部品片を相互に固定する際にスライド又はレバーを外壁の折り曲げ縁内で下向きに確実に押圧することができ、引き出し枠と構造材部品との間に強固な結合を得ることができる。

【0027】

支え要素を、構造材部品と引き出し枠との間に挿入されるくさび状スライドによって形成すれば、簡単な構成で確実に構造材部品と引き出し枠とを一体的に結合することができる。また、支え要素を構造材部品に回動自在に支えられる傾斜レバーによって形成すれば、容易に構造材部品と引き出し枠とを一体的に結合することができる。

40

【図面の簡単な説明】

【0028】

【図 1】 本発明の引き出しの斜視図である。

【図 2】 本発明の引き出しの分解斜視図であり、構造材部品を形成する部品片を引き出し枠から引き出した状態を示す。

【図 3】 背面上昇壁と手すりを有する本発明の引き出しの斜視図である。

50

- 【図４】 個々の引き出し枠と二つの部品片の斜視図である。
- 【図５】 外壁を取り去った引き出し枠の斜視図である。
- 【図６】 図５による引き出し枠の横断面の略図である。
- 【図７】 二つの部品片と、正面装飾の固定手段との斜視図である。
- 【図８】 構造材部品品の側面図である。
- 【図９】 引き出し枠と後方部品片の横断面図である。
- 【図１０】 引き出し枠と後方部品片の横断面図である。
- 【図１１】 部品片の結合範囲を示す側面図である。
- 【図１２】 部品片の結合範囲を示す側面図である。
- 【図１３】 被覆板と部品片の横断面図である。 10
- 【図１４】 本発明による引き出しの参考例を部分的に断面で示す側面図である。
- 【図１５】 本発明の参考例の引き出しの後端を部分的に断面で示す側面図である。
- 【図１６】 引き出し枠の後端の正面図である。
- 【図１７】 本発明の参考例による引き出しの、図１４と図１５と同様の側面図である。
- 【図１８】 本発明の参考例による引き出しの、図１４と図１５と同様の側面図である。
- 【図１９】 図１７と１８の参考例による引き出し枠と構造材部品品の横断面図である。

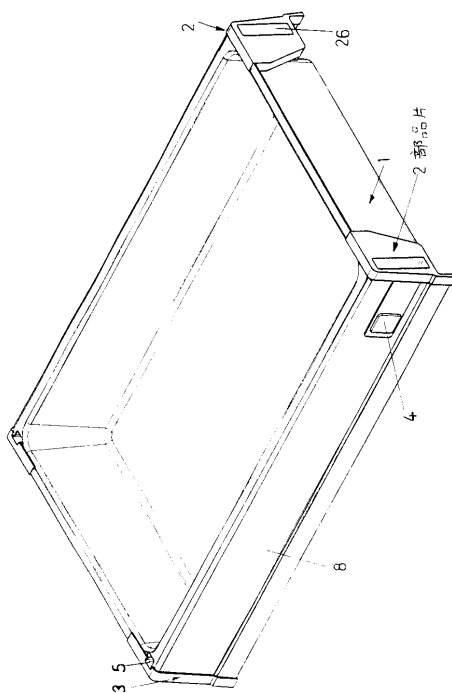
【符号の説明】

【００２９】

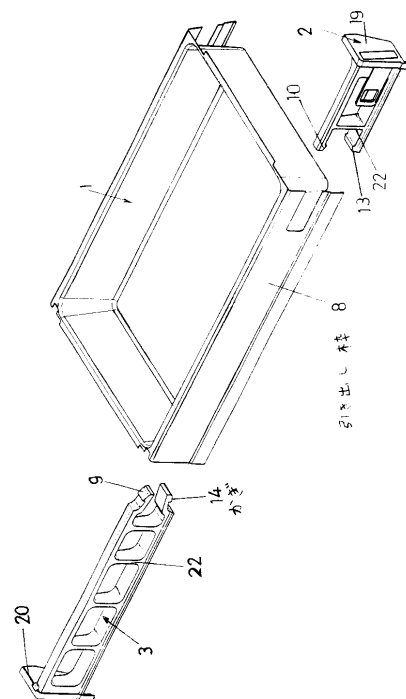
- １ 槽(Wanne)
- ２ 前方部品片(Teilstück) 20
- ３ 後方部品片
- ４ ふた
- ５ 中空室(Hohlkammer)
- ６ 背面上昇壁(Rückwandrhöhung)
- ７ 手すり(Reling)
- ８ 引き出し枠(Schubladenzarge)
- ８' 内壁
- ８" 外壁
- ９, １０ かぎ(Haken)
- １１ 保持具 30
- １２ 固定手段
- １３, １４ かぎ
- １５ 回動レバー
- １６ スライド
- １７ 引き出しレール
- １８ 台座または突出部
- １９, ２０ 被覆板
- ２１ 溝
- ２２ 垂直支柱
- ２３ 折り曲げ縁 40
- ２４, ２４' 傾斜面
- ２５ 相手面
- ２６ 小室
- ２７ かぎ
- ２８ 支えピン
- ２９ 台座
- ３０ 構造材部品(Profilteile)
- ３１ 空隙
- ３２ スリット
- ３３ 空隙 50

- 34 穴
- 35 傾斜レバー
- 36 軸
- 37 アーム
- 38 スリット
- 39 アーム
- 40 かぎ
- 41 突出部
- 45 くさび状スライド(Schieber)

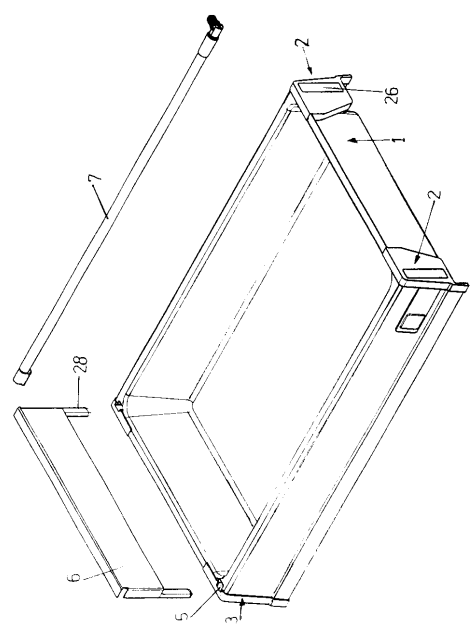
【図 1】



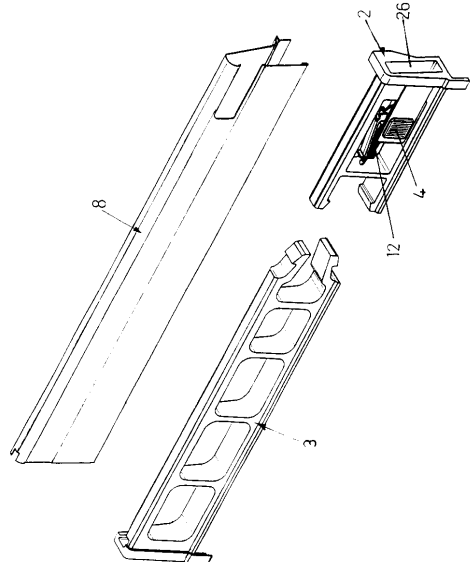
【図 2】



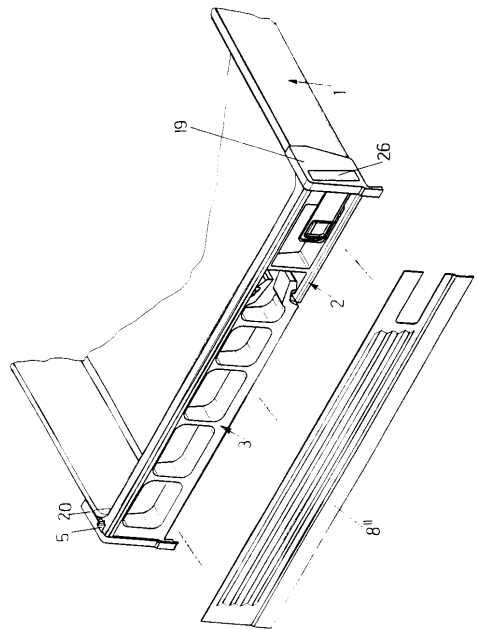
【図 3】



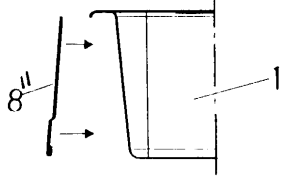
【図 4】



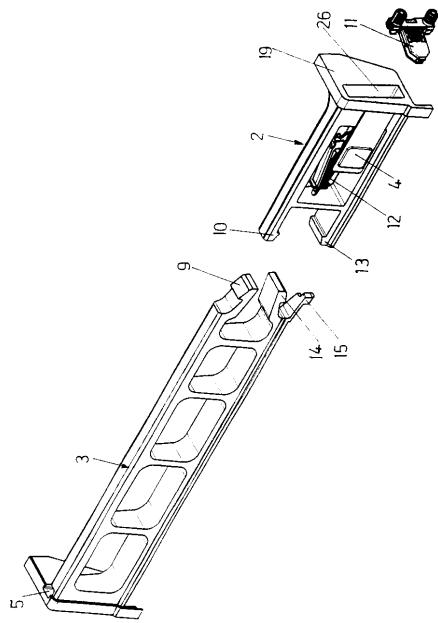
【図 5】



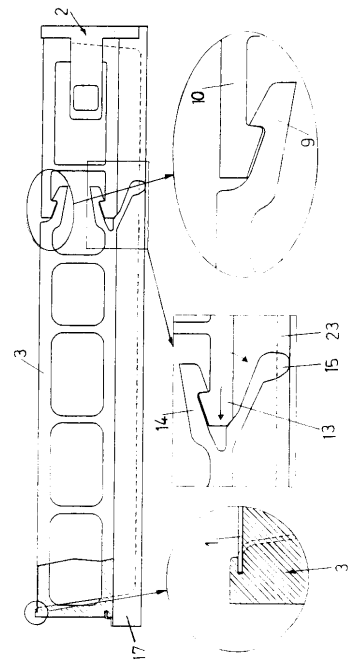
【図 6】



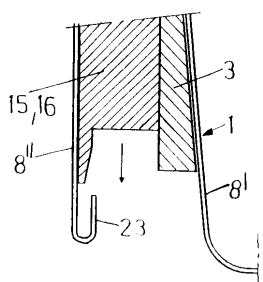
【図 7】



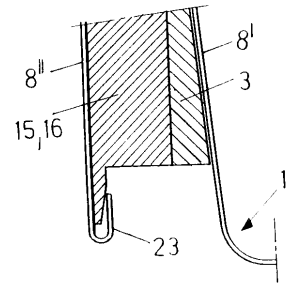
【図 8】



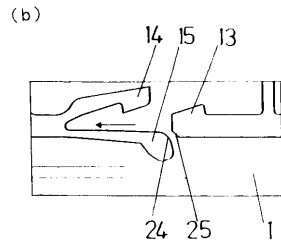
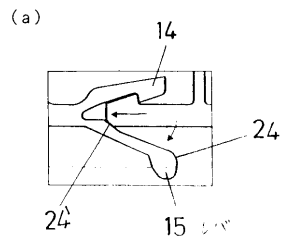
【図 9】



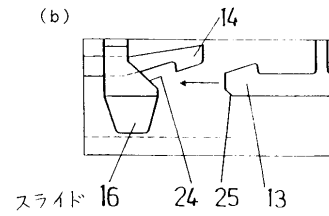
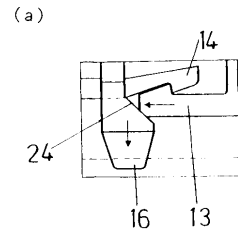
【図 10】



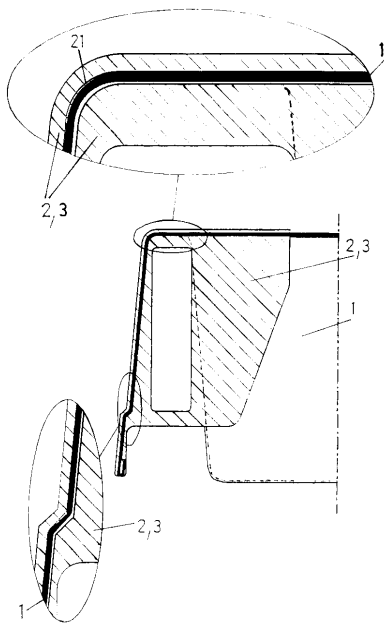
【図 1 1】



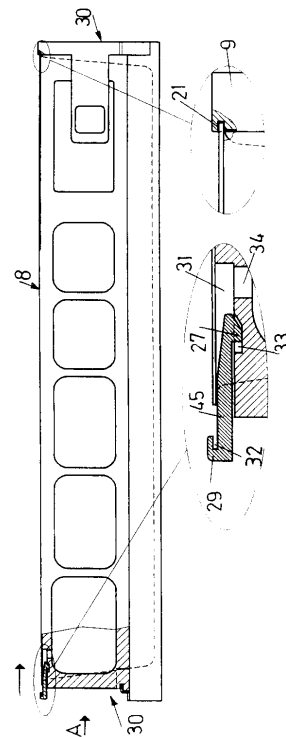
【図 1 2】



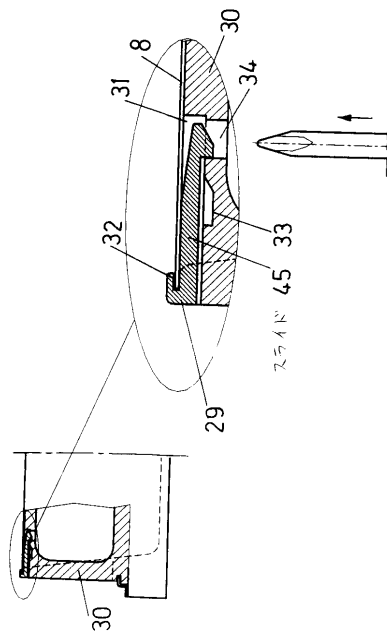
【図 1 3】



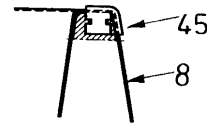
【図 1 4】



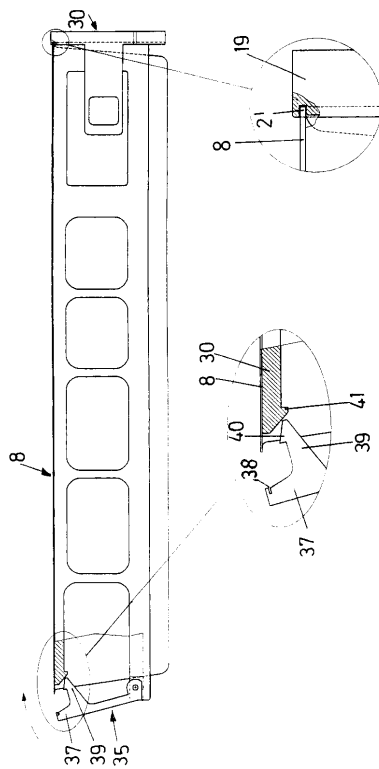
【図 15】



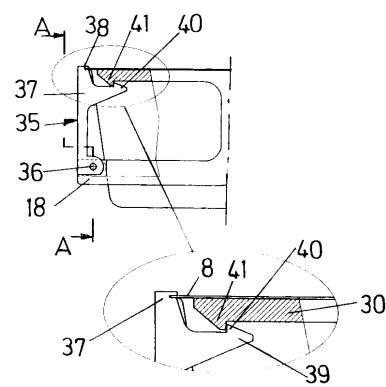
【図 16】



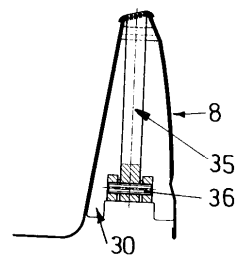
【図 17】



【図 18】



【図 19】



フロントページの続き

審査官 鈴木 秀幹

(56)参考文献 欧州特許出願公開第00030290 (EP, A1)

実開平06-044443 (JP, U)

特表平05-505967 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A47B 88/00-88/22